

## 1 会議名

令和4年度 第1回 阿賀野市環境審議会

## 2 開催日時

令和4年11月29日(火) 午後2時から午後3時45分

## 3 開催場所

阿賀野市役所「303会議室」

## 4 出席者(傍聴者を除く。)の氏名(敬称略)

- ・委員:田辺 正明、及川 紀久雄、小泉 豊信、波多野 千代、岩浪 春輝、伊藤 浩、  
渡邊 景子、(8人中 7人出席)、清水 明子(欠席)
- ・事務局:権瓶市民生活課長、三留室長、中山係長
- ・コンサルタント:(市受託業者~株式会社中部設計) :峯木環境部次長、十二町新潟支店長代理

## 5 議事

- (1) 阿賀野環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画アンケート調査の結果について (公開)
- (2) 阿賀野市環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画改訂スケジュール案について (公開)
- (3) 阿賀野市環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画改訂の方針について (公開)

## 6 非公開の理由

なし

## 7 傍聴者の数

なし

## 8 発言の内容 (以下より)

開会・挨拶 事務局(権瓶市民生活課長)

### 委員の紹介

—委員の紹介、事務局の紹介—

本日の会議は、阿賀野市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条の規定により、公開とする旨を告げる。次に、傍聴者はないこと確認する。会議中は、録音すること、議事録或いは議事内容については後日公開し、阿賀野市のホームページ等で掲載することの了承を得る。

## 議 事

## 1) 会長・副会長の選任について

### ○事務局(三留室長)

会長・副会長の選任に入ります。会長・副会長の選任につきましては、審議会規則第2条第2項の規定により「委員の互選により定める。」とあります。従いまして、委員の皆様からの互選により選出をお願いするものです。

会長・副会長の選出について、ご提案はありませんでしょうか。

—提案の声なし—

ご発言がないようですので、事務局案の提出をお願いしますが、よろしいでしょうか

—異議なしの声あり—

会長に及川紀久雄 様、副会長に田辺正明 様をお願いしたいのですが、いかがでしょうか。

—異議なしの声あり—

それでは、会長に及川紀久雄様、副会長に田辺正明様に決定いたしました。及川会長様と田辺副会長様は前の前の席へご移動いただき、今後の進行については、及川会長と田辺副会長にお願いいたします。

—及川会長、田辺副会長は、前席に移動し、それぞれ就任の挨拶を行った。—

## 2) 阿賀野市環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画アンケート調査の結果について

### ■及川会長

今日は三つの重要な事項についてご審議いただきます。一つは、阿賀野市環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画アンケート調査の結果について、それから、阿賀野市環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画改訂のスケジュール案について、それから、阿賀野市環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画改訂の方針についてという非常に重要な案件がございます。委員の皆様のご意見を伺いながら進めて参りたいと思います。

まず、最初の阿賀野市環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画アンケート調査の結果について事務局より説明をお願いいたします。

○コンサルタント

—阿賀野市環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画アンケート調査の結果について説明をする。—

■及川会長

今の説明に対して、皆様からご意見ご質問等ありませんでしょうか。非常に細かく棒グラフの方は人数ですよ、25年の時の人数と分母が違うので比較のしようがないので、これは後で、パーセンテージで修正していただきたいと思います。

○コンサルタント

全て人数ではなくパーセンテージにしたものに差し替えいたします。

■及川会長

よろしくをお願いします。

■田辺副会長

私からも同じ棒グラフについて話ですが、グラフを見る時に上と下を見比べることは判別しにくいので、例えば、色を変えて何色は何年度というように、ぱっと見てどの項目がどのように変わったか、分かるようにした方が説得力もあると思います。

○コンサルタント

そのように訂正いたします。

■田辺副会長

速報ということですが、もう追加でやる訳ではないですよ。

○コンサルタント

追加というよりは、速報で時間がない中で行いましたので、二つほど自由意見というものがある、その入力に時間が掛かるので入っていません。また、その他という項目があるのですが入っていません。後、一通、二通とアンケート結果が届いておりますので、それは追加いたします。

先週の金曜日で一度締めるという形で報告させていただきました。

■田辺副会長

この結果が新しい基本計画に反映されるということですか。

○コンサルタント

この結果から市民がどのような阿賀野市を求めているかを読み取って計画の一番の望ましい環境を作るためのものとそれを達成するための施策になりますので一番重要なものです。

■田辺副会長

今、口頭で説明を受けましたけれども、分析結果という形の報告書として出てくるのですか。

○コンサルタント

今回はそこまで解析はできていなかったなので口頭で説明いたしました。私の主観として口頭で説明いたしました。もう少し自由意見を見ながら、客観的に前回との違いを解析したいと考えております。

■田辺副会長

もう一ついいですか、これは、阿賀野市に聞きたいのですけれど災害に対する対応です。今の説明で関心が低いということで結果が出ておりますけれども、今回8月3日発災の県北の豪雨災害、非常に村上市、関川村、胎内市と厳しい状況であります。今回その災害について、阿賀野市として、「こういうふうな災害が近郊に起きたよ」と阿賀野市についてもこういう災害がいつ起こるかも分からないというようなメッセージを出す予定ですか。多分それによって、全く変わってくると思いましたが。情報は収集していますか。

○事務局（中山係長）

環境というよりも、災害計画のことだと思うのですが、私どもの災害時に発生する廃棄物の関係で環境省や県が考えを整理しておくようにということですから、市の危機管理課とも協議を行っていないのですが、新しく災害想定モデルが示されたこともあり、それを反映検討しなければならないと思っております。

■田辺副会長

ごみ処理の問題が今も出ており、例えば、新発田でいえば胎内市がエリアですよ。村上の地域振興局とか、他の市町村の情報を収集しておいて、いざ災害になったら、その情報を生かした方がよいと思います。実際に災害現場を見ておりますので、災害が起こってから対応しては大変なことと感じたものですから。少し話がずれましたが、ごみ問題の話が出たものですからそれと合わせて説明させていただきます。

■及川会長

あと皆様から何かございませんか。

■波多野委員

8頁の関心のある環境問題と情報源のところ、上の三つ、異常気象や地球温暖化問題、ごみ問題、エネルギー問題は、非常に関心が強いということが分かります。毎日毎日テレビでは、温暖化の問題が取り上げられておられますので、皆さん付けると思うのです。でも、実際に新潟市から入ってくると阿賀野市は美しいです。環境問題に何か悩んでいることがあるのかと思うくらいですけど、新潟市から橋を渡ってきたら大きな道の駅が出来ていて、力強さを感じました。バイパスはどこまで行くのでしょうか。躍動的な感じがしました。そういう面でこの街の中心に来るまでに時間経過があると環境への意見も違ってくるのでしょうか。地域にかたよりはありますか。

○コンサルタント

こちらの方で、地域別にまんべんなくやっている。5頁を見ていただくと特定の地域を選んだ訳ではありません。

■波多野委員

全体的ですね。

○コンサルタント

全体的にです。その中で環境問題の意識が高いようです。

■波多野委員

この素晴らしい水原に居ても環境問題がひしひしと感ぜられるということですね。

○コンサルタント

クロス集計を行えば、どこの地域の人がどこに関心を持っているか、ある程度分かると思います。そちらの方も行いたいと思います。

■波多野委員

雄大な山々があり、どこに環境問題があるのかと思いましたが、ごみの問題はどこに行っても全ての人に関係があるので上がってくるのかなと思っていました。ごみの焼却場の設計とかの話をしておりましたけれど。

○事務局（権瓶課長）

令和7年度からの稼働で令和6年度の途中から試験運転という予定になっております。現在、下の方の工事を行っている状況です。

■波多野委員

それに対する期待はありますか。新しいごみ焼却場ができると。

○コンサルタント

それはもしかすると、自由意見にある可能性があるのですが、それは後ほどもう少し詳しく報告したいと思います。

■波多野委員

現実の問題なので、どうやって街ぐるみで市民ぐるみで解決して行くか大事なことです。

○コンサルタント

この結果から見るとほぼ、地球温暖化問題とごみ問題で全部が入っています。

○及川会長

他に皆さんの方からのご意見、いかがでございましょうか。まだいろいろとあろうと思いますけれども、この環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画アンケート調査の結果について、いろいろお聞きして、これはまだ完成品じゃないというお話でございしますので、また、その時にいろいろご意見あろうと思います。とりあえず、このところ、これを了承するという形でよろしいでしょうか。

—異議なしの声あり—

○及川会長

異議なしというお声が多数でございました。それではありがとうございます。

それでは、その次に進めさせていただきます。よろしいでしょうか。

—「はい」の声あり—

### 3) 阿賀野市環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画改訂のスケジュール案について

○及川会長

阿賀野市環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画改訂のスケジュール案について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（中山係長）

—阿賀野市環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画改訂のスケジュール案について説明をする。—

■及川会長

ありがとうございました。

行程表についてご説明をいただきました。これにつきましては、今行程表を順次ご説明いただきましたけれども、ちょっとこの行程表からいうと若干ずれている部分がある訳ですね。書面開催が10月から始まっていますけれども、当審議会そのものは11月、第2回のとこにこれになる訳ですよ。

○事務局（中山係長）

そうなります。

■及川会長

こういう形で、若干ずれているので、パブリックコメントもずれるのですか。これはもういいのですか。

○事務局（中山係長）

審議会に関しましては、アンケート調査が今回の改訂の肝となるので、皆様に一度見てもらった方がいいと思い準備をしていましたが、事務局の方で準備ができなかったのでアンケートの内容については、中部設計さんと協議を行い10年前に実施したアンケート調査票をもとに作らせていただきました。第1回目は省略とさせていただきます。

■及川会長

では、第1回目は省略という形ですね。分かりました。ありがとうございました。皆さん、いかがでございましょう。行程表につきまして、特になければ、ちょっと分からないところをお聞きしましたが、その辺ちょっとクリアしたと思いますので、これはこれでお認めいただいたということで、よろしいでしょうか。

—「はい」の声あり—

■及川会長

はい、ありがとうございました。

#### 4) 阿賀野市環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画改訂の方針について

■及川会長

はい。ありがとうございました。次に阿賀野市環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画改訂の方針について説明をお願いいたします。

○コンサルタント

—阿賀野市環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画改訂の方針について説明をする。—

■及川会長

はい。ありがとうございます。作成でどこを取ってどこを重点にするかということだと思いますけれども、何か皆さんからご意見、ご質問いかがでございましょうか。

■波多野委員

6頁の自然環境、生活環境、地球環境、環境教育の考え方なのですが、自然環境は身近な自然環境だと生活環境の中にごみと交通、CO2の関係で自動車が電気自動車に代わるそういう部分が生活環境の中に入ってくると思うのですが、具体的に今は電気自動車に問題がありますが、電気自動車を目指して行かなきゃいけないような見通しみたいなものは必要ですよ。

○コンサルタント

データとかあると思うのでお示ししたいと思います。

■波多野委員

充電器が道の駅になかったですよ。電気自動車の充電器、まだ設置してないですよ。

○事務局（三留室長）

1台だけ急速充電器があるかと思います。

■波多野委員

帰りによく見て行きますね。やっぱり新しいところなので必要ですし、交通が変わればCO2の問題が大きく変化してくると思うので、個人的にはまだそこまで手が出ないと思うのですが、将来的には皆さんが考えなきゃいけない問題だと思います。

○コンサルタント

日本全体を考えると、やっぱり電気自動車というのが先進国の中でも遅れている。遠い将来を考えたら、全て電気自動車に代わるのかと、その過渡期としてハイブリッド車がどんどん新しいものが出てくると思います。都内とかは結構いろんなところに充電器があり、次のところまで何キロあるのか、ちょっと距離がありびっくりしたみたいなことがあると導入が遅れると思います。本来であれば、ガソリンスタンドにあればよいのですが。それより家庭で充電するのが一番いいのかなと思います。

■波多野委員

いろいろな問題があるのですが、CO2削減というのであれば協力して行かなければならないのかなど。行政はまず電気自動車を購入してみるとか、そっちの方向に行かなければならないですよ。そのことを一言触れておかなければならないと思います。

## ■及川会長

その他、いかがでございますか。

## ■田辺副会長

行程表の話の中で、3頁の対象期間の中で令和5年から10年間ということで、さらに19頁でPDCAの部分がありました。PDCAは皆さんがよく分かっていることですが、計画を立ててそれで終わりでは何もならないということです。行程表を見ると、令和5年の3月までの行程表をいただきましたけれども、大事なのはこの後だと思います。他の環境審議会の話を知ると、年必ず2回やるとかという話をよく聞きます。我々が審議して、こういうふうにやりましょうと決めたことに対して、実際どうなのか、ちゃんとやっているか。そういう逆に想定より効果が出ているとかを見ながら、どんどん対応して行かなければならない。計画は計画として、途中で修正できるものは修正する。

例えば水質、これぐらいが下がってくると思って進めて行くのだけれども、下がってくるのがこれだけしかない、何かあるのじゃないか。そういうことをその都度分析して、どんどんその目標値に近づけていかなければならないというのが、環境問題に対する取り組み方だと思います。計画を立てるだけでは環境問題の対策にならないので、実行して検証して直すものは直すということが必要です。できれば、10年間の行程表があった方がより誰に対しても説明がしやすいと考えます。これは、阿賀野市さんの話だと思います。

## ○事務局（中山係長）

ロードマップということですよ。

## ■田辺副会長

そうですね。どこを目標にして、どの時点でどういうふうに見直ししてどのように変えるのか。

多分、今回の最初の基本計画にしても今までそんな話は少なかったと思いますが、できればそういった長いスパンがあった方が我々もイメージをしやすいし、次にこれをしなければ行けないと考えることができるのではないのでしょうか。

## ■渡邊委員

ちょっと私は、広報のやり方をもうちょっと考えた方がいいと思います。

最初にこの委員会を立ち上げた時に、ものすごい雪の時に及川先生の提案で、太陽光発電を見に行きました。目を開けていられないくらいの時に、これで太陽光発電の何を見ればいいのかと私たちは思いましたよ。でもあの時に、及川先生が、「太陽光発電をあそこでやって、どれくらい阿賀野市に還元し

ているのだ。みんなに安く売ればいいじゃないですか」というふうなことを言って、なるほどそういうのがあるのだなというふうに思いました。大室の方とか昔のロシア村のところとか、結構大規模な太陽光が出てきたのですけれども、「やらせていただきますのでよろしくね」というのは、勝屋地区ですから、来るのですけれども、それが一体全体、私たちの電力にどういうふうに関係があるのだろうか、「なるだけ工車の車は静かに走りますね」、「そうですか」みたいな感じなのですけれども、どのぐらいの太陽光を作って、私たちの生活に役に立つのだろうか、それこそ及川先生が最初に言ったように、これをやったらこの地区みんな電力が地産地消になるのですよというふうな、広報をやればいいと思います。

もう一つは、例えば東京都の小池知事が、「みんな東京都の人たちは屋根に太陽光発電をやりましょよ」というふうなことを言って、本当、「なるほどね」というふうに思いました。

例えば、電話を掛かってきて「太陽光発電をやりませんか」というふうなのがあるのですけれども、雪の降っている時に「考えられませんよ」と言ったらそうですかねというふうに言うのですね。だから、本当はこんなところで、太陽光発電をやって効果があるのだろうかというふうなのを、例えば、数字を出して、それでも夏場はこうなるとうですよみたいな、そういう広報をやっていただくと、じゃあ、太陽光発電はいいのだろうかとか、もうちょっと新しい機械が出た時にやればいいのかしらとかです、屋根じゃなくって今、縦型の太陽光発電もありなるほどと思ったのですけれども、今、電気高くなっているから、みんな一生懸命に節電しても、どうしたらいいか分からない。

だから、もうちょっと広報のやり方を、太陽光発電を私たちに身近なものであって、お得な生活ができるというふうなことをちょっとやっていただけるとありがたいなというふうに思います。

## ■及川会長

ありがとうございました。大雪の中を思い出しまして、その時に話した要するに、これのエネルギーを、県が東北電力に売る訳ではなくて、阿賀野市がエネルギーを作って、市民に向けて少しこれを安く提供する。それで、ここに来る企業の産業そのものに対してもやはりそういう電力を提供するというのもいいのではないかという話です。あの時、市長さんにもその話はしたのですが、独自のものはできていないのです。だから阿賀野市独自のものを。それで今、阿賀野市の人口減が随分大きいです。世帯数はあまり減らないけれども、人口の方は大きく減っていると。やはり、住んで善しと、そういう街づくりというものを、今、たくさんいろいろな項目を並べていますけれども、こうじゃなくって阿賀野市に住みたいね、或いは、阿賀野市に住んでよかったねという。電力も他より1%でもいいのですよ安く。これは大きいです。今、コンサルの会社が富山県だとおっしゃっていた。富山県は非常にセールスが上手い。木

材パースも新潟に来ない。いろんな船は、富山に行くのですよ。富山は、まず水が安い。ちょっとだけ安い。電力は北陸電力がちょっと安い。そういうことでね、そういう政策そのものが、ほんの1円か2円値段が違うだけなのです。それでもやはり、何千トンの水ですからね。そう考える電力もそうですけどね、その辺りが新潟が負けているところですよ。富山県のノウハウを是非とも阿賀野市に授けて欲しいと思います。余計なことを申しました。

是非、皆さんからお一人お一人からご意見いただきたいですけど、小泉委員の方からいかがでございましょう。白鳥の数が多かったり少なかったりしますが、新潟では、花火をしたら鳥屋野潟の白鳥が逃げたという話もございまして。生態系から見た阿賀野のあり方が、ここにあまり生態系は出ておりませんけど。

#### ■小泉委員

瓢湖の白鳥に関して、私たちは、単に白鳥を守る会というのではなく、「瓢湖の白鳥を守る会」という冠がついています。瓢湖の環境が白鳥の飛来なり、ねぐらの問題なりに関わってきますので、瓢湖の環境保全で一番問題になっているのが、湖底のヘドロです。最近、ハスが大分繁茂しているので、それが枯死し、沈殿し、腐敗して堆積してヘドロ化する。それが大きな問題になっています。私たちは小さな団体でお金も無く、その問題に対応出来ません。ヘドロを除去しない限り瓢湖の環境はますます悪化して、最終的には湿地になるのではないかと心配をしているところです。阿賀野市の環境を考えた時に、阿賀野市のシンボリックな存在になっている白鳥の瓢湖の環境問題について審議会で取り上げていただきたいと思っています。一番いいのは、ヘドロの除去なのですが、お金が掛かるということでとりかかれないうちでいるということです。

#### ■及川会長

多分、この審議会が始まった頃から課題になっていました。だからもう、あまり解決の方向に向かってないのですね。

#### ■小泉委員

早急に対応しないとイケないのですけどね。今、お話したとおり、瓢湖全体が湿地になってしまうおそれがあります。「白い妖精の街水原」といったところで、大事なねぐらである瓢湖がその役目を果たせなくなってしまう。そのような状況ですので、阿賀野市の環境保全として、優先度の高い問題だと思います。

#### ■及川会長

ありがとうございました。それから、伊藤委員、ちょっとご意見、ご質問いただければ。

#### ■伊藤委員

私は皆様のご意見を聞いて、本当に勉強になったという感想ですけれども。私は阿賀野市民でありながら、こういう策定をしていて、こういうふうに計画をしていることが分からない。市民でありながら、つまり先ほども出ていましたが、広報というのですかね、そういうところで、市民に対してはこういうことをやっていますとか、こういうことをお願いするにしてもこういう理由でこうお願いしているとか、そういったものが必要かなっていうふうに感じました。お話を聞いて、後17頁にあるし、阿賀野市地球温暖化対策実行計画が、令和12年度までに26%削減するというような計画があるのですが、これから策定することなのですからけれども、全国的に見ても、阿賀野市もそんなに変わらないという、グラフを見るとそんなような形になっているのですが、実際、阿賀野市は、どういうところでどういうふうな削減の仕方ですかね。阿賀野市にあったお金の掛からないような、お金を掛けるのであれば、それなりの理由とか効果ですかね、そういうことをしっかり検証、もしくは議論した上での策定にならないと、絵に描いた餅では話にならないと思いますので、そういうところを、専門の方もいらっしゃいますのでそれをお聞きしながら、しっかりした計画を立てていただきたいと思います。

そして、同時に先ほど話があったように、学校もそうですけど、PDCAをしっかりと回さないと、意味がないことですので、10年後に変わらなかったという話には、もう意味がないっていうか、何していたのだ10年間という話になるので、そういうところをしっかりと皆さんと一緒に議論したり、検証したいなというふうに感じました。感想で申し訳ございません。

#### ■及川会長

貴重なご意見ありがとうございます。県の環境センターの岩浪さん。

#### ■岩浪委員

ちょっとさっきの話というか、アンケートの話に戻るのでありますが、災害における瓦礫等の処理問題が減ったと。私の感想としては意識が高まったというよりは、かなりピクニック的なことが起こったのかなと。おそらく、平成25年は新潟福島豪雨の記憶がまだ鮮明な時期ではないかなと、阿賀野市さんも結構、被害が出ましたよね。阿賀野市の方で、もし床上浸水とかの被害地域であったとすれば、相当ごみ問題というのは、早急に何とかしなければ行けない問題だから高かったのかと思います。阿賀野川沿いの安田地区は結構水が上がったと思うのですよね。そういう所で、結構高かったのかなと。地区的なものはどうだったか分からないですけど、逆に、意識的にこうなったというか、関心が薄れたというよりは、その

時は高かったし、実際にどうしても時間が経つにつれて関心は薄れて行くと、パーセンテージが落ちる話なのだなあと。それって、環境基本計画の話なのでしょうかねというのが正直あって、災害がらみの方でケアをする中で、やっぱり意識が下がったみたいな言い方をしないほうがいいのかなと思ったのが一つです。

それとあと、目標、環境基本計画の対象範囲というその四つのくくりの中で、実際に私は阿賀野市民ではなくて、ある程度、通勤途中での関わりはありますけれど、むしろ外から見た阿賀野市のイメージというのは先ほど各委員の方が自然豊かで地元にお住まいの方にとっても、そうだよねとか、共感できる部分がもしあるのであれば、そういうのをその目標の中に前面に出して行って、後は、全てが触れない訳に行かない項目だと思うので、若干の強弱をつけた形で、後は網羅的に作るのは基本計画なのかなというふうには思います。以上です。

#### ■及川会長

ありがとうございました。貴重なご意見をいただきました。意外と地元に住んでいる人は、この善さを分らない。外から来た人の方がよっぽどその辺がよく指摘されて分かる。その辺がね、あると思えますけれども、アンケートに元々阿賀野市に住んでいる方と、それから京ヶ瀬でしたっけ、橋の近くの新潟側はかなり、新潟から入ってきた方々も多いという話を聞いています。だから、地域によって若干アンケートの色合いが違うのかもしれませんがね。今日は皆さんからご意見を賜りました。最後にご意見ありませんか。是非、阿賀野市らしい他にはない、要するに、こういう報告書というのは全国どこの都市を見ても同じことが書いてあります。切り貼りのない、切り貼りの禁止の報告書に是非していただきたく、そういうプランにさせていただきたいと思っております。

特に何もなければ一応、今日の進行上はこれでおしまいとなります。三つの協議事項が終わりました。これでよろしゅうございますね。事務局に渡して、次回のスケジュールなりをご説明いただければと思います。

#### ○事務局（三留室長）

只今、慎重なご審議ありがとうございました。事務局より、先ほどの議事の3にありましたスケジュール通り、次回の審議会を1月の中旬に予定しておりますので、詳細が決定いたしましたら、皆さんの方にご案内文書を送らせていただきます。

#### ■波多野委員

次回の開催日がポンと決まると困るので。

○事務局（三留室長）

事前に電話で委員の皆さんの日程調整をしてから文書を送付させていただきます。田辺副会長様より閉会の挨拶をよろしくお願いいたします。

■田辺副会長

挨拶というよりもお礼ということで、皆様、それぞれしっかり意見を持った方が、委員になっており、いち阿賀野市民として安心いたしました。引き続きこれからもよろしくお願いいたします。

本日は活発な審議、ありがとうございました。

○事務局（三留室長）

以上で本日の審議会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

## 9 問い合わせ先

民生部 市民生活課 脱炭素・SDG s 推進室 環境係

TEL0250-62-2510（内線2106）

E-mail:shimin@city.agano.niigata.jp